

深川小学校保護者様

令和4年7月学校評価アンケート集計結果及び改善プランについて

長門市立深川小学校  
校長 矢野裕之

平素より本校教育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、7月に実施しました今年度1回目の学校評価アンケートでは、保護者の皆様に御協力いただき、大変ありがとうございました。先日の学校運営協議会にて、アンケートの集計結果と改善プランについて報告し、今後の対応について検討いたしましたので、下記のとおり御報告いたします。

記

1 アンケート実施概要

- (1) 実施日 令和4年7月11日～15日
- (2) 実施対象 児童 458名 保護者 455名 教職員 37名
- (3) 回収数 児童 444部 保護者 348部 教職員 37部
- (4) 回収率 児童 96.9% 保護者 76.5% 教職員 100%

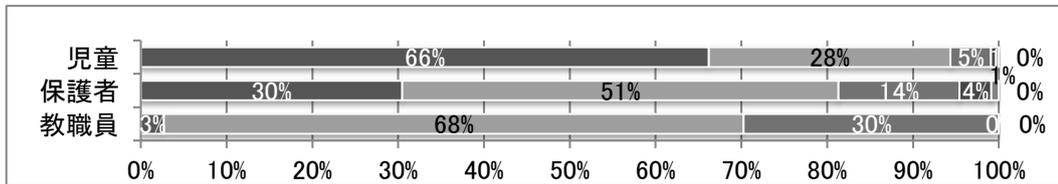
2 項目別アンケート集計結果及び考察 (○)、並びに改善プラン (☆)

■ そう思う	■ どちらかという、そう思う
■ どちらかという、そう思わない	■ そう思わない
■ よく分からない	■ 無回答

※今回から教職員も「よく分からない」を入れた5択の回答を行ったことで前回よりも肯定的回答のポイントが大きく下がっている項目があり、一概に比較できない状況が起きている。

(1) 児童は、『笑・自・気』あいさつをしているか。

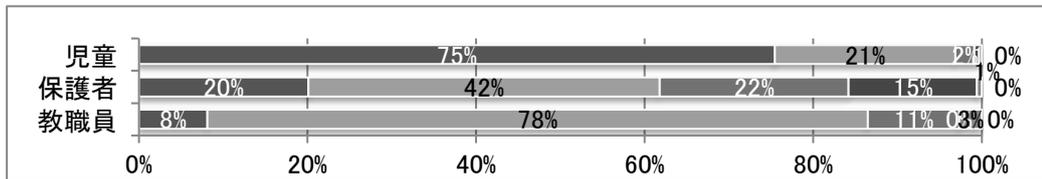
7月



R3.12月との比較 (肯定的回答) 児童±0P、保護者+3P、教職員-8P

(2) 児童は、『だ・い・す・き』そうじをしているか。

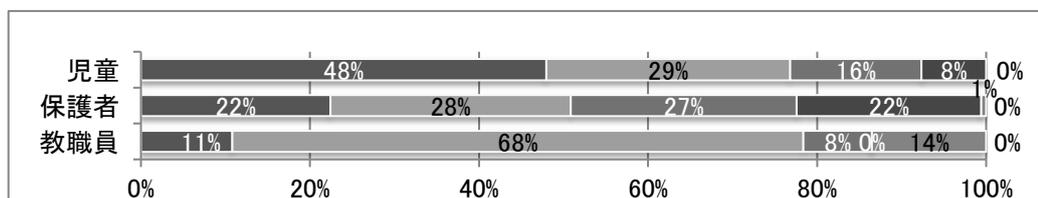
7月



R3.12月との比較 (肯定的回答) 児童-1P、保護者+5P、教職員+1P

(3) 児童は、『いち・ご』読書をしているか。

7月



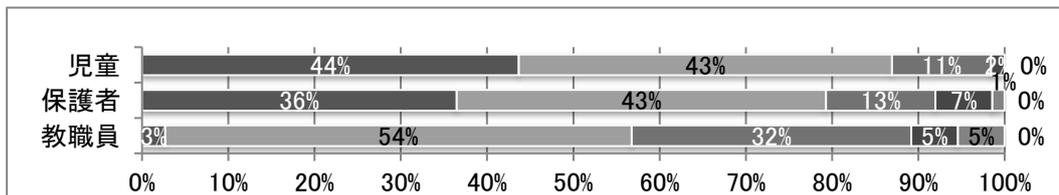
R3.12月との比較 (肯定的回答) 児童-2P、保護者-16P、教職員-15P

○ チャレンジ目標に関する質問項目では、特に(3)読書の保護者・教職員の評価が低くなっており、前年度成果の上がった読書習慣の取組の持続が課題となっている。

☆ 学級文庫、読書の時間を確保しているか各学級で見直し、また、傍らに本を置くことで隙間時間活用の意識を向上させます。また、朝読書・ブックトークを確実に行います。

(4) 児童は、授業の構え（筆箱の中身・1分前着席・次の時間の用意）ができているか。

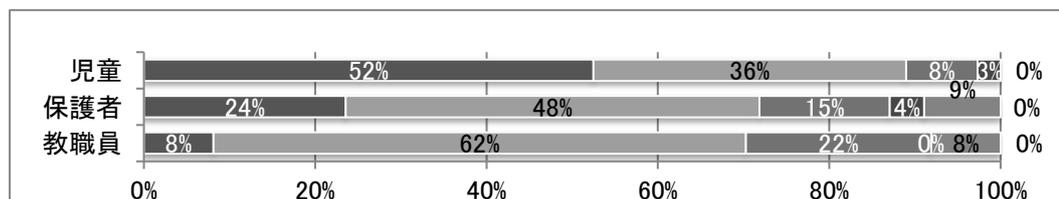
7月



R3. 12月との比較（肯定的回答） 児童+5P、保護者+3P、教職員-17P

(5) 児童は、対話的な学びを通して自分の意見を積極的に表現できているか。

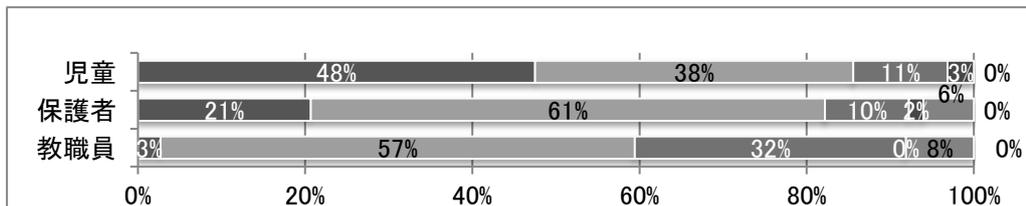
7月



R3. 12月との比較（肯定的回答） 児童-2P、保護者-4P、教職員-13P

(6) 児童は、人の意見や行動に流されず、自分で考えて判断し、正しく行動しているか。

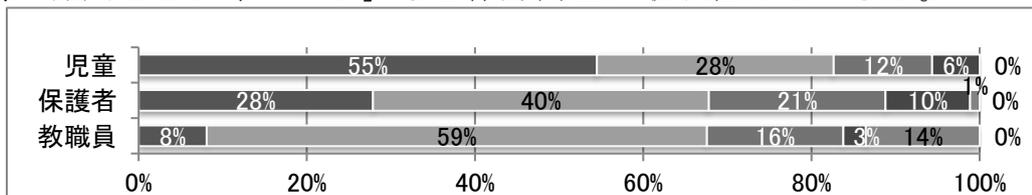
7月



R3. 12月との比較（肯定的回答） 児童+6P、保護者+1P、教職員-19P

(7) 児童は、「深川deチャレンジ」など体力向上に取り組んでいるか。

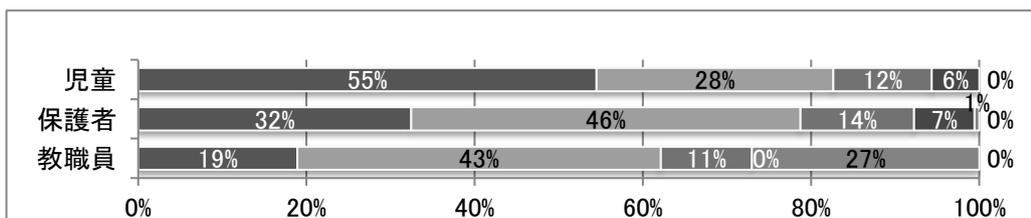
7月



R3. 12月との比較（肯定的回答） 児童+4P、保護者-1P、教職員-16P

(8) 児童は、学年にふさわしい時間、家庭学習をしているか。

7月



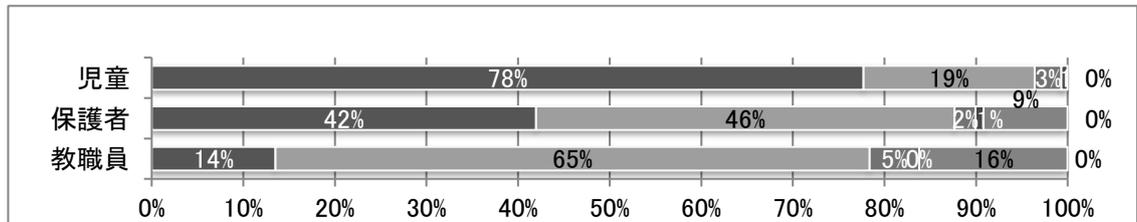
R3. 12月との比較（肯定的回答） 児童-7P、保護者±0P、教職員-30P

○ 児童に関する項目では、児童、保護者の回答では、項目(4)学習規律(6)正しい判断力は、評価が高くなった。一方、(8)家庭学習については、児童の肯定的回答が下がっている。教職員の肯定的回答はすべ得て大幅に下がっているが、「よく分からない」という回答が入ったことで、昨年度との比較では判断できない状況があると考ええる。

☆ 家庭学習については、学年の目安の時間を継続して取り組めるよう家庭と連携して確認、励ましを行います。学年が上がるにつれ、自分の学びを調整して内容を考えて取り組む自学の割合を多くし、児童が工夫できるようにします。体力向上については、体力に関する通信を発行しており、通信を通して児童の実態や学校の取組をお知らせしていきます。

(9) 教師は、分かりやすく勉強を教えているか。

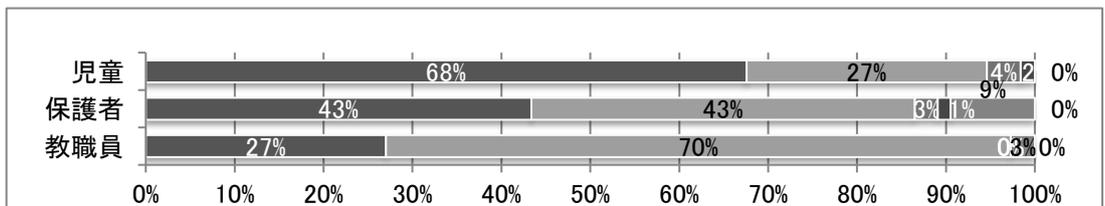
7月



R3.12月との比較(肯定的回答) 児童-1P、保護者-1P、教職員-18P

(10) 教師は、児童のよさをよくほめたり認めたりしているか。

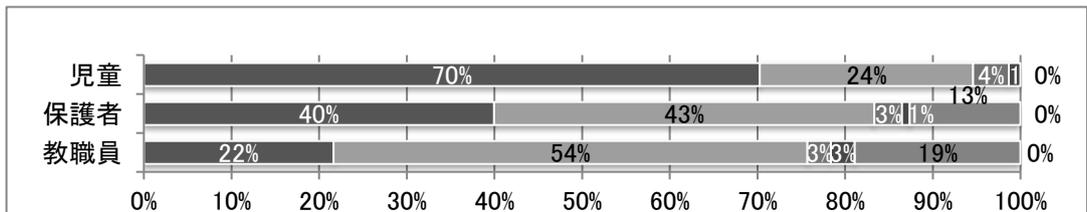
7月



R3.12月との比較(肯定的回答) 児童±0P、保護者-5P、教職員±0P

(11) 教師は、児童の話をよく聞いているか。

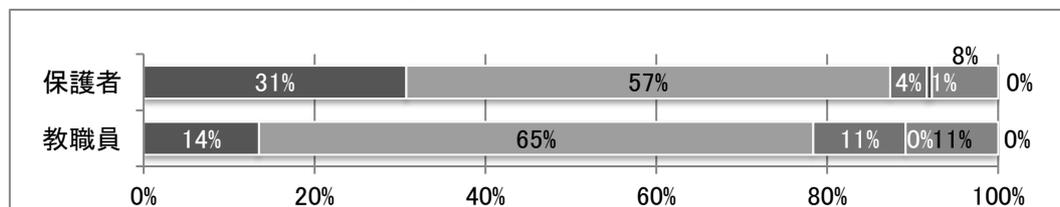
7月



R3.12月との比較(肯定的回答) 児童-3P、保護者-1P、教職員-22P

(12) 教師は、保護者・地域と連携した教育に努めているか。

7月



R3.12月との比較(肯定的回答) 保護者+2P、教職員-18P

○ (10) 児童への称賛については、保護者の肯定的回答が減った。児童からの伝わり方や学校からの伝え方が関係していることが考えられる。一方、児童の肯定的回答が97%と高く、一番伝えたい児童には伝わっている。

☆ 児童の称賛については、保護者の方には懇談会や学級通信等、機会をとらえて子ども達の良さや成長を伝えていきます。地域連携については、学校のホームページを随時更新し、学習の様子を発信しています。今後も継続して行っていきます。

### 3 自由記述のまとめ及び改善プラン

※ 主なものを抜粋しています。

意見	改善プラン
(1) 一クラスの人数が多すぎる。担任の負担が増え、満足な教育ができないと思う。子どもの発言の機会が減り、逆に誰かを待つ時間が増える。大人数に紛れるので集中力も持続しづらいと思う。人数が多いことで学習のチャンスが削られている。子ども一人一人にもっと寄り添い、学びのチャンスを増やす対策が必要だと思う。3クラスにしてはいけなかったのか。	現在、全国の公立小学校の1クラスの上限人数は、1～3年生は35人、4～6年生は40人と定められています。山口県では、県独自で予算を組み、全学年35人学級化しています。特別支援学級の児童は交流学習に入りますが、在籍は別となり、通常学級の1クラスの数になりません。学校独自では1クラスの児童数を決定できないことを御理解ください。本校では、生活支援員を配置し、きめ細やかな対応となるよう工夫しています。
(2) プリントに写真を掲載して頂くのは有難いが白黒でイマイチよくわからない。重要な内容が把握しにくいプリントも多い。	プリントの写真はカラー印刷にすると費用がかかるため、白黒印刷となっています。少しでも様子が伝わるよう印刷設定の工夫などを行っていますが、限界があるのも事実です。大きさなどに留意したいと思います。また、内容については、分かりやすい文面を心掛けていますが、把握しづらい場合は遠慮なくお伝えください。次からの改善につなげます。
(3) コロナ等で登校できない時の学習について、もう少し具体的に提示していただければうれしい。 タブレットがせっかくあるので、学校の授業を一緒に聞けるなど…コロナ関係でお休みとなると長期に休まなければならなくなることが考えられるので、授業が進んでしまってもわからなくなるのではないかと親としては心配。	長門市では、今年度から臨時休業などの非常時にタブレット端末の持ち帰りができるようになりました。しかし個人が新型コロナウイルス感染症に罹患した時、タイミングよく前日にタブレットを持ち帰らせ活用することは難しいところです。日常的な持ち帰りは11月から週に一回行っています。また、本校では、9月に学級閉鎖の学級で試験的にリモート授業を行いました。タブレット端末を活用した家庭学習を少しずつ定着できるよう努めて参りますが、しばらくは、これまでと同じ方法になりますが、進み具合など具体的に提示することで家庭学習に生かしていただけたらと思います。
(4) 1学期に学力調査対策にかなり力点を置かれているが、その分割かれた授業の学習内容がきちんと担保されているのか心配。授業の中でも、しっかりと教えていただけると幸いである。	全国学力・学習状況調査の問題は、身に付けた知識をいかに活用できるかが問われ、たくさんの資料や長文を読む問題形式になっています。既習の内容の復習に加え、そのような形式を経験することも力を発揮するために必要であると考えます。それぞれの学年で習得すべき内容を授業や家庭学習等で繰り返し学習していますが、しっかり定着させるために、全国学力・学習状況調査を良い機会と捉え、計画的に取り組んでいます。授業時数については、授業時数や学習の進捗状況を確認して不足することがないようにしています。
(5) ジェンダーレス教育を取り入れて欲しい。	この記述文だけでは、どの程度まで望んでいらっしゃるかわからないが、学校では今後も一人一人の子どもたちが互いの人権を尊重し、男女が平等であるという意識を育むよう努めてまいります。(現在、出席番号は男女混合、呼称「さん」づけ、またランドセル・上靴の色は特に指定していません。ぜひご家庭でもジェンダー教育に取り組んでみてください。)
(6) 修正テープやメモ帳を使いたい。 (児童からの意見です)	現状のまま、筆箱の中身のきまりにしたがっていきます。(この案を書いた児童なら管理はできると思うが、今でも文房具の不具合で授業に集中できない児童が多いです。)
(7) 熱中症警戒アラートの日、冷房が入っている教室と入っていない教室があったので基準などがあれば学校だよりなどでお知らせしてほしい。	WBGTなどの目安が載っている校内の「エアコン使用の決まり」に従い、子どもたちにとって良い学習環境をととのえます。残暑厳しい2学期初めも、こまめな水分補給を指示し子どもの体調には配慮します。
(8) 子どもから聞くと先生は何かいいことをした時には褒めたりがないと聞いた。褒めて伸ばすことは大事ではないか。逆に悪いことをしたら、やっちはいけないことだと自覚させて、先生からしっかり教えて欲しい。	児童の心に残るよう、今後もしっかり褒めていきます。(児童にとっては、褒められることより、叱られたことの方が残りやすい面もあると考えられます)